

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	47	部 局 名	市民部	所 属 名	文化・青少年課	所 属 長	吉田 美紀
事務事業名	00871 青少年健全育成事業	記 入 者	山下 春美				

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	地方青少年問題協議会法
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		大津市子ども・若者プラン
	政策	03	生き生きと健康に過ごせるまちにします		
	施策	05	青少年の健全育成		
	視点	01	子ども・若者の健やかな育成		
重要	01	子ども・若者の健全育成体制の充実			

関連事業	コード	事 務 事 業 名 称	コード	所 属 名 称

予算事業	会 計	枠	事 業 種 別	予 算 事 業 名	始 期 ・ 終 期
	一般会計	政策	評価対象事業	青少年健全育成事業費	

事業の概要
 次代を担う青少年を健全に育成するため、本市における青少年健全育成施策を推進する。また、関係団体・機関等と連携を図りながら、家庭・地域・学校が一体となった市民運動として事業を展開し、青少年の健全育成に対する意識高揚を図る。
 (1) 青少年健全育成に係る各種啓発活動 (2) 青少年育成市民会議活動への支援 (3) 大津っ子まつりの開催 (4) 中学生広場の開催

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

＜2. 事業分析＞ PLAN

目 的 (何のために)	次代を担う青少年の健全育成を行うために
対 象 (何又は誰を)	市民及び青少年関係団体を対象に
手 段 (どのようなやり方で)	青少年育成学区民会議等と連携して事業を展開し
成 果 (どのような状態にするのか)	青少年の健全育成に対する市民意識の高揚を図るとともに、青少年が健やかに成長できる社会環境の整備を図る

＜3. 経費＞ DO

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	備 考
		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)	
直接経費 A		8,613	8,519	9,174	9,855	8,425	
人件費 B		16,928	16,880	16,918	16,918	16,918	
事業費合計 A+B		25,541	25,399	26,092	26,773	25,343	
事業費の財源内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	342	346	346	346	346	自治振興交付金
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	25,199	25,053	25,746	26,427	24,997	
職員数(人)		3.15	3.15	3.15	3.15	3.15	
職員数の内訳	正規	1.60	1.55	1.55	1.55	1.55	
	嘱託	0.95	1.00	1.00	1.00	1.00	
	臨時	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	

＜4. 指標＞ DO

	指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 啓発活動の回数	回	目標	1,100	1,200	1,200	1,200	0
			実績	1,265	1,411	1,621	-	-
	2 あいさつ運動、パトロール回数		目標					
			実績					
成果指標	1 青少年育成学区民会議活動への参加者数	人	目標	58,100	59,000	61,000	61,000	61,000
			実績	59,349	75,861	71,343	-	-
	2 大津っ子まつり	人	目標	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000
			実績	23,000	25,000	29,000	-	-

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	少子・高齢化や情報化の急速な進展など、青少年を取り巻く環境は大きく変化しており、引きこもりの長期化、いじめ問題など、懸念される問題が多く存在する。		
これまでの見直しや改善等の経過	中学生広場と青少年育成市民会議50周年青少年育成市民のつどいを同時開催したことにより、中学生の素直で力強い思いを多くの方々に伝えられた。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	関係市民団体と市が担うべき役割りを分担し協働で事業を実施するなど、実施主体等は妥当である。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	各関係市民団体が青少年健全育成を熱心に取り組んでいるため、成果目標を達成できている。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	成果目標を達成するとともに、コスト削減にも努めたことから効率的である。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	青少年健全育成事業に取り組んでいる、地域や市民団体においては事業を拡大したり、現在の社会環境に合わせた事業に見直しをしたり等、総合計画に掲げる施策13「青少年の健全育成」への貢献度は高い。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
部局長コメント	<p>今後引き続き、地域の子どもは地域で守ることを念頭に、青少年の健やかな成長と自立に向けた取組みを継続していく。</p> <p>青少年育成市民会議は各地域において見守りや声かけなど地道な活動を継続的に実施されている。引き続き、当該団体と連携し、活動を支援するとともに、地域間での交流や情報共有を促し、子どもたちが健やかに成長できるよう、効果的な事業の実施に努められたい。</p>

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標達成率	指標1	102.14 %	128.57 %	116.95 %
	指標2	100.00 %	108.69 %	126.08 %
成果増減率	指標1	- %	+27.82 %	-5.95 %
	指標2	- %	+8.69 %	+16.00 %
活動単位コスト	指標1	20 千円	18 千円	16 千円
	指標2	0 千円	0 千円	0 千円
成果単位コスト	指標1	0 千円	0 千円	0 千円
	指標2	1 千円	1 千円	0 千円
コスト増減率		- %	-15.35 %	-1.10 %

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	48		
部 局 名	市民部	所 属 名	文化・青少年課
事務事業名	02265 子ども・若者育成支援推進事業	所 属 長	吉田 美紀
		記 入 者	山下 春美

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	子ども・若者育成支援推進法、子供・若者育成支援推進大綱 大津市子ども・若者プラン
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	03	生き生きと健康に過ごせるまちにします		
	施策	05	青少年の健全育成		
	視点	01	子ども・若者の健やかな育成		
重事	01	子ども・若者の健全育成体制の充実	関連する個別計画		

関連事業	コード	事 務 事 業 名 称	コード	所 属 名 称

予算事業	会 計	枠	事 業 種 別	予 算 事 業 名	始 期 ・ 終 期
	一般会計	政策	評価対象事業	子ども・若者育成支援推進事業費	

事業の概要
「大津市子ども・若者プラン」に基づき、平成29年10月に子ども・若者総合相談窓口を開設すると同時に子ども・若者支援地域協議会を設置した。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	次代を担う子ども・若者を支援するために
対象 (何又は誰を)	ニート、ひきこもり等、社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者を対象に
手段 (どのようなやり方で)	子ども・若者支援地域協議会の各関係機関と意見交換と連携を深め
成果 (どのような状態にするのか)	全ての子ども・若者が将来に希望を持ち、社会的に自立することができる環境を整備する。

＜3. 経費＞ DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		629	3,217	6,490	6,383	10,786	
人件費 B		8,907	7,540	7,549	7,549	7,549	
事業費合計 A+B		9,536	10,757	14,039	13,932	18,335	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	9,536	10,757	14,039	13,932	18,335	
職員数(人)		1.40	1.15	1.15	1.15	1.15	
職員数の内訳	正規	1.00	0.85	0.85	0.85	0.85	
	嘱託	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.35	0.30	0.30	0.30	0.30	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	大津市子ども・若者支援地域協議会開催回数	回	目標	7	7	9	9	5	
				実績	7	7	9	-	-	
	平成29年10月よりネットワーク会議から支援地域協議会へ移行									
	2	大津市子ども・若者総合相談窓口への相談件数	件	目標	0	200	450	800	800	
実績				0	225	1,243	-	-		
平成29年10月1日開設										
成果指標	1	大津市子ども・若者支援地域協議会出席率	%	目標	80	80	80	80	80	
				実績	64	74	85	-	-	
	平成29年10月よりネットワーク会議から支援地域協議会へ移行									
	2				目標					
実績										

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	深刻化している少子高齢化や就業形態の多様化、情報社会の進展による有害情報の拡散、貧困問題、不登校、若年無業者、引きこもりの長期化等の問題が顕在化している。	
これまでの見直しや改善等の経過	子ども・若者支援地域協議会において、子ども・若者総合相談窓口の相談事例による意見交換会や講師による研修会、グループワーク、講演会を実施し、支援機関同士の連携を強化できた。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	大津市総合計画に掲げる施策を推進するため、市が実施主体となることは妥当である。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	相談窓口の件数は増加傾向にあり、事業成果が大きく上がっていることから事業の有効性は高い。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	総合相談窓口の運営は専門的スキルを有する民間団体（社会福祉協議会）に委託しており、相談件数が増加傾向にあることから、事業の費用対効果は優れ、効率性は高い。
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	社会生活を営む上で困難を有する子ども・若者を、関係機関と連携しながら支援する体制づくりに努めることは、大津市総合計画「子ども・若者の健全育成体制の充実」に貢献している。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	子ども・若者総合相談窓口を含む地域協議会の各機関がスムーズに連携して当事者および家族を支援できるよう、協議と知見習得を深め、全ての子ども・若者が将来に希望を持ち、社会的に自立することができる環境を整備する。
部局長コメント	次代を担う子ども・若者が社会的に自立できるよう、子ども・若者総合相談窓口と支援地域協議会の各機関が連携して支援を行うとともに、当事者に必要な情報が届くよう、支援機関の広報周知にも努められたい。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標達成率	指標1	80.00 %	92.50 %	106.25 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	+15.62 %	+14.86 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	1,362 千円	1,536 千円	1,559 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	149 千円	145 千円	165 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	-2.43 %	+13.62 %

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	389		
部 局 名	教育委員会	所 属 名	生涯学習課
事務事業名	00890 青少年教育推進事業	所 属 長	押 栗 雅 則
		記 入 者	源 田 扶 左 子

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	大津市社会教育関係団体事業補助金交付基準
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	03	生き生きと健康に過ごせるまちにします		
	施策	05	青少年の健全育成		
	視点	01	子ども・若者の健やかな育成		
重事	01	子ども・若者の健全育成体制の充実		関連する個別計画	

関連事業	コード	事 務 事 業 名 称	コード	所 属 名 称

予算事業	会 計	枠	事 業 種 別	予 算 事 業 名	始 期 ・ 終 期
	一般会計	管理	評価対象事業	青少年教育推進事業費	

事業の概要
 青少年の健全育成並びに青少年活動の活性化のための事業を行う。(ユースボランティアセミナー研修会開催、ジュニアリーダーの育成を図る事業への補助金交付、大津市子ども会育成連合会による地域交流事業)

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	青少年が、若さと情熱を持って積極的、自主的にまちづくりに貢献する。また、子ども会育成連合会等のジュニアリーダーを養成・育成する。
対象 (何又は誰を)	大津市子ども会育成連合会、ユースボランティアセミナー他
手段 (どのようなやり方で)	ジュニアリーダーの育成を図る事業への補助金交付、ユースボランティアセミナー研修会の開催
成果 (どのような状態にするのか)	子ども会育成連合会の事業の充実、組織の強化を図るとともに、ジュニアリーダーの養成・育成を図る。

< 3. 経費 > DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		708	90	135	498	498	
人件費 B		2,848	2,568	4,595	6,806	6,999	H30~子ども読書推進事業統合
事業費合計 A+B		3,556	2,658	4,730	7,304	7,497	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	133	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	3,423	2,658	4,730	7,304	7,497	
職員数(人)		0.39	0.39	0.76	0.83	0.93	H30~子ども読書推進事業統合
職員数の内訳	正規	0.34	0.29	0.49	0.83	0.83	
	嘱託	0.00	0.00	0.05	0.00	0.00	
	臨時	0.05	0.10	0.22	0.00	0.10	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	青少年指導者研修(ユースボランティアセミナー)委員数	人	目標	15	15	15	15	15
				実績	12	16	15	-	-
		人数							
活動指標	2	ジュニアリーダー育成推進事業数	回	目標	30	10	5	5	5
				実績	6	5	3	-	-
		事業数							
成果指標	1	青少年指導者研修(ユースボランティアセミナー)参加者数	人	目標	40	40	40	40	40
				実績	40	33	15	-	-
		事業への参加者数							
成果指標	2	ジュニアリーダー育成推進事業への参加者数	人	目標	450	450	250	250	250
				実績	378	280	229	-	-
		事業への参加者数							

< 5. 評価 > CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	少子化の進行とともに自然体験の機会が減少していること等から、青少年及び青少年指導者の養成、育成の機会が減少傾向にある。	
これまでの見直しや改善等の経過	ジュニアリーダー推進事業補助金は平成29年度から大津市社会教育関係団体事業補助金に統合した。平成26年度からユースボランティアセミナーを設置し、指導者の養成及び育成を実施している。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	未来を担う青少年の健全育成のための事業にあわせ、指導者の育成のための事業を実施していく。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	ジュニアリーダー育成推進事業については、一定の成果が得られている。ユースボランティアセミナー研修会については、運営委員自らが企画・運営を行っており、指導者の育成につながっているが、新規研修参加者の確保に至っていない。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	事前研修で学んだことをもとに、本研修においては自らが指導者となって実施している。
総合評価	<input type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input type="checkbox"/> A. 貢献している <input checked="" type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	各青少年関係団体が活動できる場所を提供できているだけでなく、ユースボランティアセミナー研修会を通じて青少年指導者の育成にも貢献している。
---------	--	--

< 6. 今後の方向性 > ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	引き続き、青少年の自主性を尊重しながら育成に努める。また、平成26年度から再開したユースボランティアセミナーの企画運営委員については定着してきており、より自立できるように導いていくとともに、一般参加者を呼び込む工夫をしていく。
部局長コメント	青少年の地域活動の核となる人材の育成は急務であり、「ユースボランティアセミナー」などを通して、青少年リーダーの養成を図る仕組みは有効である。今後も、事務の効率化を図りながら、事業を継続し、青少年はもとより青少年指導者の養成及び育成を図る。	

< 7. 評価分析 > ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標達成率	指標 1	100.00 %	82.50 %	37.50 %
	指標 2	84.00 %	62.22 %	91.60 %
成果増減率	指標 1	- %	-17.50 %	-54.54 %
	指標 2	- %	-25.92 %	-18.21 %
活動単位コスト	指標 1	296 千円	166 千円	315 千円
	指標 2	592 千円	531 千円	1,576 千円
成果単位コスト	指標 1	88 千円	80 千円	315 千円
	指標 2	9 千円	9 千円	20 千円
コスト増減率		- %	-4.24 %	+204.53 %

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	390		
部 局 名	教育委員会	所 属 名	生涯学習課
事務事業名	00811 成人式開催事業	所 属 長	押 栗 雅 則
		記 入 者	源 田 扶 左 子

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	関連する個別計画	
	政策	03	生き生きと健康に過ごせるまちにします		
	施策	05	青少年の健全育成		
	視点	01	子ども・若者の健やかな育成		
重事	99	その他			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	成人式開催事業費	
事業の概要	次代を担う新成人の門出を祝福するとともに、大人になったことを自覚し、生き抜こうとする意欲の高揚を図るため、成人式を挙げる。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()				

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	次代を担う新成人の門出を祝福するとともに、大人になったことを自覚し、生き抜こうとする意欲の高揚を図る
対象 (何又は誰を)	平成10年4月2日～平成11年4月1日生まれの人
手段 (どのようなやり方で)	新成人等の意見を踏まえたホテルでの成人式典の挙行
成果 (どのような状態にするのか)	新成人に「大人」になったことの自覚を促すとともに、社会の一員としての責務を再認識させる

< 3. 経費 > DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		5,555	5,732	5,986	6,394	6,921	
人件費 B		3,253	2,978	2,749	3,434	4,293	
事業費合計 A+B		8,808	8,710	8,735	9,828	11,214	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	8,808	8,710	8,735	9,828	11,214	
職員数(人)		0.44	0.44	0.45	0.48	0.60	
職員数の内訳	正規	0.39	0.34	0.30	0.40	0.50	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.05	0.10	0.15	0.08	0.10	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	参加者	人	目標	2,700	2,700	2,800	2,800	2,700
				実績	2,848	2,875	2,934	-	-
	当日参加人数								
	2			目標					
			実績						
成果指標	1	参加率	%	目標	75	80	80	80	80
				実績	81.7	82.9	79.4	-	-
	対象者/参加者×100								
	2			目標					
			実績						

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	厳しい財政状況のなか、経費の縮減が求められている。迷惑行為が常態化するなか、会場を含めた取り組み方法の見直しが必要である。成人年齢の引き下げ（18歳成人）による事業の見直しについて検討する必要がある。		
これまでの見直しや改善等の経過	平成23年度からプログラムの縮小、印刷物の直営化、サブ会場の廃止、案内はがきの無償化、新成人の意見の聴取などを行い、昨年は警備体制の強化を図った。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	新成人が一堂に会して厳粛な式典形式で開催している。新成人の誓いの言葉を行い、来賓よりお祝いの言葉を直接聞く貴重な場であり、時代を担う新成人の門出を祝福するとともに、大人になったことを自覚し、自ら社会の一員として参画し、自立して生きようとする意欲の高揚を図ることができる。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	参加率は高く、近年、新成人の約80%の参加者が見られる。青少年教育団体の子どもたちのボランティアによる出迎え等、簡素であっても心こもった式典となるよう心がけている。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	式典の開催にあたり、安全管理を徹底するため、委託先のホテルや警備会社、警察との連携を図り、また、社会教育関係団体にボランティアを協力依頼するなど内容を低下させず、経費を少しでも縮減できるよう工夫している。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本の見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	新成人をみんなで祝福することは、次代を担う若者の応援となり、子どもの成長を祝うことは、心豊かな人づくり、地域づくりにつながる。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	新成人が一堂に集う貴重な場である。次代を担う新成人の門出を祝福するとともに、成人としての高揚を図るため、今後も新成人の意見を踏まえ、厳粛な式典形式で開催する。なお、効率的に成人式を運営するため、また、民法改正（成人年齢の引き下げ）に関し、開催日や会場等について検討を行う。
部局長コメント	平成28年度から、新成人の声を取り入れた新成人のための成人式となるよう実行委員会形式で事業実施しており、飲酒や安全対策の充実に努める。また、成人年齢の引き下げに係る成人式のあり方について、研究、検討を進めていく。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標達成率	指標1 108.93 %	103.62 %	99.25 %
	指標2 - %	- %	- %
成果増減率	指標1 - %	+1.46 %	-4.22 %
	指標2 - %	%	%
活動単位コスト	指標1 3 千円	3 千円	2 千円
	指標2 - 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1 107 千円	105 千円	110 千円
	指標2 - 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率	- %	-2.54 %	+4.70 %

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	411		
部 局 名	教育委員会	所 属 名	少年センター
事務事業名	00881 大津少年センター運営事業	所 属 長	平松 一郎
		記 入 者	沖本 光史

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市生涯学習センター 条例・運営規則
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	関連する 個別計画	
	政策	03	生き生きと健康に過ごせるまちにします		
	施策	05	青少年の健全育成		
	視点	99	その他		
重事	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称
	00875	青少年健全育成条例運用事業（大津少年センター）	2416	少年センター
	00879	特別非行防止対策事業（大津少年センター）	2416	少年センター

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	大津少年センター運営事業費	

事業の概要
 青少年の非行防止と健全育成を図るため、少年問題に関する情報・資料の収集と整備を行い、少年補導活動・相談活動・環境浄化活動・広報啓発活動、学校支援アドバイザー派遣事業等を推進する。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他（ ）

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	少年の非行防止と健全育成
対象 (何又は誰を)	少年（20歳未満の者）
手段 (どのようなやり方で)	学校、地域、警察等関係機関との連携を図り、実態把握と補導・保護活動を行う。相談活動の充実を図り、少年及び保護者に対する指導・助言を行う。広報誌の発行等を行い、少年問題に対する市民の理解を深める。
成果 (どのような状態にするのか)	少年の非行（犯罪やぐ犯行為）の未然防止ができ、少年の倫理意識の高揚が図られる社会の実現。

＜3. 経費＞ DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		1,739	1,643	1,669	1,768	1,768	
人件費 B		23,269	23,575	23,698	21,689	21,689	
事業費合計 A+B		25,008	25,218	25,367	23,457	23,457	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	230	230	230	230	230	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	24,778	24,988	25,137	23,227	23,227	
職員数(人)		6.74	6.74	6.74	6.61	6.61	
職員数の内訳	正規	0.61	0.61	0.61	0.46	0.46	
	嘱託	6.13	6.13	6.13	5.40	5.40	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.75	0.75	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	街頭補導回数	回	目標	550	550	550	550	550
				実績	542	581	500	-	-
	街頭補導を実施した回数								
	2	少年相談件数	件	目標	1,100	1,100	1,100	1,200	1,200
実績				1,304	1,333	1,537	-	-	
相談を受理した件数									
成果指標	1	補導人数（愛の声かけを含む）	人	目標	1,200	1,000	1,000	1,000	1,000
				実績	1,066	838	968	-	-
	街頭補導による補導人数（愛の声かけを含む）								
	2	相談の結果改善がみられた人数	人	目標	25	25	25	25	25
実績				30	30	32	-	-	
相談の結果改善がみられた人数（継続相談者も含む）									

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	子どもたちの気になる行動の根の部分を探ると親子関係における様々な課題—身体的、心理的虐待やネグレクト等の愛情不足、その対極である過干渉、過保護の中で子どもがストレスを感じ問題行動として表面化している。		
これまでの見直しや改善等の経過	複雑化し解決困難な相談ケースに対応するため、週1回ケース会議や支援会議、関係機関との連携会議を持ち、共通理解と指導員の研鑽を深め、相談者や学校等に対し適切な支援を組織的に行う体制作りを進めている。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	日常の相談活動、少年補導(委)員会と連携した街頭補導、立入調査を中心とした環境浄化活動、広報誌や講演などの広報啓発活動、薬物乱用防止活動を通して、少年の非行防止と健全育成を推進している。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	少年センターがパイプ役となり、小中学校や警察はもとより、少年補導(委)員会や各種関係機関との連携、協力のもと、少年の非行防止と健全育成に成果を上げている。	
効率性 (事業手法は効率的であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	少年に関わる相談や指導に豊富な知識と経験を有する有資格者の嘱託職員を必要最小限配置し、効率的な運営に努めている。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	少年の非行防止と健全育成に寄与している。
---------	--	----------------------

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	家族の関係性に起因する子どもの問題行動が表面化していく中、ケース会議等で支援の方向性や問題点を分析し、日常の相談活動、街頭補導活動、環境浄化活動、広報啓発活動、学校支援アドバイザー派遣事業等を通して、粘り強く少年の非行防止、健全育成に努めていく。またより積極的に学校、保護者、青少年に寄り添いながら支援する。
部局長コメント	複雑化している社会環境の中、このような活動を通して粘り強く少年の非行防止・健全育成に努めていくことが、今後必要であり、一層の活動充実を図りたい。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標達成率	指標1	88.83 %	83.80 %	96.80 %
	指標2	120.00 %	120.00 %	128.00 %
成果増減率	指標1	- %	-21.38 %	+15.51 %
	指標2	- %	±0.00 %	+6.66 %
活動単位コスト	指標1	46 千円	43 千円	50 千円
	指標2	19 千円	18 千円	16 千円
成果単位コスト	指標1	23 千円	30 千円	26 千円
	指標2	833 千円	840 千円	792 千円
コスト増減率		- %	+14.55 %	-9.30 %

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	412	
部 局 名	教育委員会	所 属 名
事務事業名	00882 堅田少年センター運営事業	所 属 長
		記 入 者
		平松 一郎
		沖本 光史

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	北部地域文化センター条例・運営規則
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	03	生き生きと健康に過ごせるまちにします		
	施策	05	青少年の健全育成		
	視点	99	その他		
重事	99	その他	関連する個別計画		

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称
	00876	青少年健全育成条例運用事業（堅田少年センター）	2416	少年センター
	00880	特別非行防止対策事業（堅田少年センター）	2416	少年センター

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	堅田少年センター運営事業費	

事業の概要
 青少年の非行防止と健全育成を図るため、少年問題に関する情報・資料の収集や整備を行い、少年補導活動・相談活動・環境浄化活動・広報啓発活動等を推進する。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	少年の非行防止と健全育成
対象 (何又は誰を)	少年（20歳未満の者）
手段 (どのようなやり方で)	学校、地域、警察等関係機関との連携を図り、実態把握と補導・保護活動を行う。相談活動の充実を図り、少年及び保護者に対する指導・助言を行う。広報誌の発行等を行い、少年問題に対する市民の理解を深める。
成果 (どのような状態にするのか)	少年の非行（犯罪やぐ犯行為）の未然防止ができ、少年の倫理意識の高揚が図られる社会の実現。

< 3. 経費 > DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		1,479	927	793	878	878	
人件費 B		8,220	8,329	8,376	8,130	8,130	
事業費合計 A+B		9,699	9,256	9,169	9,008	9,008	
事業費の財源内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	230	230	148	148	230	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	9,469	9,026	9,021	8,860	8,778	
職員数(人)		2.51	2.51	2.51	2.48	2.48	
職員数の内訳	正規	0.14	0.14	0.14	0.11	0.11	
	嘱託	2.37	2.37	2.37	2.37	2.37	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	街頭補導回数	回	目標	280	280	280	280	280
				実績	280	336	296	-	-
	街頭補導を実施した回数								
	2	少年相談件数	件	目標	280	300	300	300	300
実績				488	477	463	-	-	
相談を受理した件数									
成果指標	1	補導人数（愛の声かけを含む）	人	目標	600	600	600	600	600
				実績	1,213	1,638	1,244	-	-
	街頭補導による補導人数（愛の声かけを含む）								
	2	相談の結果改善がみられた人数	人	目標	10	10	10	10	0
実績				7	15	15	-	-	
相談の結果改善がみられた人数（継続相談者も含む）									

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	子どもたちの気になる行動の根の部分を探ると親子関係における様々な課題―身体的、心理的虐待やネグレクト等の愛情不足、その対極である過干渉、過保護の中で子どもがストレスを感じ問題行動として表面化している。		
これまでの見直しや改善等の経過	より複雑化し解決困難な相談ケースの増加に対応するため、週1回ケース会議を持ち、各指導員が共通理解の基に相談に関わり、相談者や学校等に対し適切な支援を組織的に行う体制作りを進めている。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	日常の相談活動、少年補導(委)員会と連携した街頭補導、立入調査を中心とした環境浄化活動、広報誌や講演などの広報啓発活動、薬物乱用防止活動を通して、少年の非行防止と健全育成を推進している。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	少年センターがパイプ役となり、小中学校や警察はもとより、少年補導(委)員会や各種関係機関との連携、協力のもと、少年の非行防止と健全育成に成果を上げている。	
効率性 (事業手法は効率的であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	少年に関わる相談や指導に豊富な知識と経験を有する有資格者の嘱託職員を必要最小限配置し、効率的な運営に努めている。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要	<input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	少年の非行防止と健全育成に寄与している。
---------	--	----------------------

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了() <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	家族の関係性に起因する子どもの問題行動が表面化していく中、日常の相談活動、街頭補導活動、環境浄化活動、広報啓発活動、学校支援アドバイザー派遣事業等を通して、粘り強く少年の非行防止、健全育成に努めていく。
部長コメント	複雑化している社会環境の中、このような活動を通して粘り強く少年の非行防止・健全育成に努めていくことが、今後必要であり、一層の活動充実を図りたい。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標達成率	指標 1	202.16 %	273.00 %	207.33 %
	指標 2	70.00 %	150.00 %	150.00 %
成果増減率	指標 1	- %	+35.03 %	-24.05 %
	指標 2	- %	+114.28 %	±0.00 %
活動単位コスト	指標 1	34 千円	27 千円	30 千円
	指標 2	19 千円	19 千円	19 千円
成果単位コスト	指標 1	7 千円	5 千円	7 千円
	指標 2	1,385 千円	617 千円	611 千円
コスト増減率		- %	-42.39 %	+14.75 %